



くまもと

県高連新聞

2020
JANUARY

Vol. 47

ビリョクだけど
ムリヨクじゃない、
高校生の可能性を
信じてください。



UNIグローバルユニオンでのスピーチ



国連欧州本部前



国連欧州本部にて軍縮会議の傍聴

令和元年8月、「高校生平和大使」(16都道府県・23人)の一人としてスイス・ジュネーブへ派遣された県立第二高2年島崎亜季子さん(17)。

核廃絶を求める21万筆を超す署名を国連欧州本部軍縮部に手渡した。

また約30カ国の大使や外交官が参加した軍縮会議日本政府代表部主催のレセプションでは、核保有・非保有の両方の国の人と交流した。

現地では、被爆体験「昔の話ではない、今に生きる人たちへの警告」について話しきかせを続けている被爆者などを伝え、「被爆者の思いに応えなければいけない」とスピーチした。

CONTENTS

P2~3 地区別指導者研究大会報告

P4…… 総会への出席を促す取組みについて・熊本丸航海実習と熊本地震の記憶

P5…… 笑顔と元気の発信源 地域を支える矢部高校
地域と学校との連携について(商業科ならではの連携)

P6…… 我が校自慢の生産品

P7…… 学校紹介(熊本県立北稜高等学校・熊本県立阿蘇中央高等学校)

P8…… (財)熊本県PTA教育振興財団からのお知らせ・生徒総合保障制度のご案内



日本政府軍縮大使主催
夕食会兼レセプションにて
外交官の方と意見交換



城南地区／幹事校
八代清流高等学校

城南地区公立高等学校PTA指導者研究大会は令和元年11月10日、幹事校の八代清流高校体育館にて行われ、当校は全日制、定時制合せて13校から135名の関係者にご参加いただきました。アトラクションでは八代清流高校筝曲部の演奏、同校放送部による作品を鑑賞していただき、音と水による清き流れの心地よさを感じていただけたかと思います。開会行事後、全国高P連から貰賠責任補償制度、県高P連から生徒総合保障制度の説明、県教育委員会教育指導局体育保課より部活動の方針、また食育（朝食の摂取と学力・体力の関係）についての説明があり、また県商工観光労働部労働雇用創生課から熊本県プライム企業の保護者向けイベントについての説明・案内がありました。講演は、肥薩おれんじ鉄道株式会社社長 出田貴康氏を講師にお招きしました。

開会行事においては次期幹事校の八代高校八代中学校のPTA会長 今田史昭氏より挨拶を頂きました。最後になりましたが、本校での大会開催に際し、ご指導ご尽力頂きました関係者全ての方々に深く感謝申し上げますとともに、今後のPTA活動の更なる発展をお祈り申します。



天草地区／幹事校
天草高等学校



開会行事においては次期幹事校の八代高校八代中学校のPTA会長 今田史昭氏より挨拶を頂きました。最後になりましたが、本校での大会開催に際し、ご指導ご尽力頂きました関係者全ての方々に深く感謝申し上げますとともに、今後のPTA活動の更なる発展をお祈り申します。



信じてください、この事実！ 浪人生のみでこの実績

2019合格実績 現役生・他校生・講習会生、模試受験者等を1名も含みません

国公立医医 医に強い！**熊本大** 熊本大 医に強い！**防医大** 防医大 医に強い！**283** 昨年 267名 **130** 昨年 126名 **50** 昨年 44名

北九州予備校熊本校 JR熊本駅白川口正面 ●理事長・熊本校校長 大久保 了 (元熊本高校校長) 資料請求・お問い合わせ インバウンドオフィス 0120-181509

北予備 High School ハイスクール
高校1・2・3年生 会員制自習室＆学習プログラム

集中できる質問できる**自習室** + 一流講師の講座を視聴できる**VOD** 視聴

月会費5,000円で、集中できると評判の自習室が使い放題！ 質問に対応してくれるスタッフもいます！

北予備生が大絶賛!! VODは志望校合格の特効薬？!

令和元年度 熊本県公立高等学校PTA連合会 地区別指導者研究大会報告



令和元年10月20日(日)玉名市民会館にて、城北地区公立高等学校PTA指導者研究大会を開催しました。大会には城北地区14校208名の方に参加していました。

開会に先立ち、玉名高校音楽部が、山口百恵メドレー「ローランド」などを合唱する、参加者の方には当時を懐かしみ口ずさむ方も多くいらっしゃいました。また、中島みゆきさんの「糸の演奏では、澄んだ歌声と歌詞に涙ぐむ人もいらっしゃいました。

開会行事では、県高P連の夏大会長、城北地区PTA連絡協議会の坂口会長、玉名高校の西澤校長先生、来賓として社会教育課の須恵審議官から挨拶をいただきました。

続いて、「命のバトン」～家族の絆、地域の絆～「子どもは未来の宝物」というテーマで、スタディライフ熊本名譽顧問の田原由貴子氏による講演をいただきました。慈恵病院に勤められた経験をもとに、「子どもはかけがえのない一人の人権をもつた存在である」と安心して子育てできる環境をつくること。安心して社会全体で「子どもを育んでいく」ことが必要であり、そのためには居心地のより温かな家庭、地域力が大事であると話されました。

午後からは二校の研究発表が行われました。鹿本農業高校は、「本校におけるPTA活動の現状とあり方」で、田原由貴子氏による講演をいただきました。

また、玉名高校は、「本校におけるPTA活動体制」を話されました。また他の保護者にも学外行事に参加・協力を呼びかけられたり、工夫をされています。「できる人が、できるとき」ができることをして、できたじの活動をスローガンに、現状に応じて日々の活動を行っていると発表されました。

次に、阿蘇中央高校が「九州のど真ん中の新しい風」～想いはつ・心ついた～というテーマで発表されました。阿蘇高校と阿蘇清峰高校・阿蘇農業高校が統合して、現在の阿蘇中央高校ができるところから、育友会の常任委員会も2校舎制の特徴から編成されています。学校行事の日程や、育友会活動が二つの校舎で同時に行われたり、「一つの校舎で一緒に行われたりする」となど、常に想いはつ・心ついた～の精神で地域との連携も含めて阿蘇中央高校の育友会活動が行われていることを発表されました。

2校の発表の後、社会教育課の須恵審議員から講評をしていただきました。

閉会行事では、本校の坂口会長から各校の大会の参加と各発表に対しての御礼を述べさせていただきました。最後に、次年度幹事校・高森高校に城北大会会の看板をバトンわりに引き継ぎ、大会を閉じさせていただきました。



開会行事後、城北高等学校長の竹原英治先生による「坂の上の希望」の演題にて講演がありました。竹原先生は熊本農業高等学校時代も熱血先生として、生徒からも慕われていたそうです。

人生は上り坂しかない、上るしかないじいじじが必要であり、そのためには居心地のより温かな家庭、地域力が大事であると話されました。

午後からは二校の研究発表が行われました。鹿本農業高校は、「本校におけるPTA活動の現状とあり方」で、田原由貴子氏による講演をいただきました。

また、玉名高校は、「本校におけるPTA活動体制」を話されました。また他の保護者にも学外行事に参加・協力を呼びかけられたり、工夫をされています。「できる人が、できるとき」ができることをして、できたじの活動をスローガンに、現状に応じて日々の活動を行っていると発表されました。

次に、阿蘇中央高校が「九州のど真ん中の新しい風」～想いはつ・心ついた～というテーマで発表されました。阿蘇高校と阿蘇清峰高校・阿蘇農業高校が統合して、現在の阿蘇中央高校ができるところから、育友会の常任委員会も2校舎制の特徴から編成されています。学校行事の日程や、育友会活動が二つの校舎で同時に行われたり、「一つの校舎で一緒に行われたりする」となど、常に想いはつ・心ついた～の精神で地域との連携も含めて阿蘇中央高校の育友会活動が行われていることを発表されました。

2校の発表の後、社会教育課の須恵審議員から講評をしていただきました。

閉会行事では、本校の坂口会長から各校の大会の参加と各発表に対しての御礼を述べさせていただきました。最後に、次年度幹事校・高森高校に城北大会会の看板をバトンわりに引き継ぎ、大会を閉じさせていただきました。



研究発表は、熊本北高等学校より「令和」を歩む子どもたちへ必由館高等学校から必由生と共に歩むPTA～子どもの未来につなぐ必由会～のテーマでPTA活動の実践報告や、進路状況等発表をしていただきました。

閉会後、次期幹事校の御船高等学校の井藤会長より、次年度に向けてご挨拶いただきました。また、大会の開催にあたり、先生方・PTA役員の皆さんへ支援いただいた方々に深く感謝申し上げます。

研究発表は、熊本北高等学校より「令和」を歩む子どもたちへ必由館高等学校から必由生と共に歩むPTA～子どもの未来につなぐ必由会～のテーマでPTA活動の実践報告や、進路状況等発表をしていただきました。

閉会後、次期幹事校の御船高等学校の井藤会長より、次年度に向けてご挨拶いただきました。また、大会の開催にあたり、先生方・PTA役員の皆さんへ支援いただいた方々に深く感謝申し上げます。

研究発表は、熊本北高等学校より「令和」を歩む子どもたちへ必由館高等学校から必由生と共に歩むPTA～子どもの未来につなぐ必由会～のテーマでPTA活動の実践報告や、進路状況等発表をしていただきました。

閉会後、次期幹事校の御船高等学校の井藤会長より、次年度に向けてご挨拶いただきました。また、大会の開催にあたり、先生方・PTA役員の皆さんへ支援いただいた方々に深く感謝申し上げます。

総会への出席を促す取組みについて

玉名工業高等学校

本校のPTA総会は、4月下旬に開催しているが、数年前までは5月開催で出席率もそれほど高くはなかった。定期総会の流れは、「授業参観」「総会」「地区委員長選出」「部活動保護者会」「クラス懇談会」「役員会」を、ほぼ一日かけておこなわれる。

4月開催に移行した理由は、平成24年度まで欠席者総会は行っていなかったが、25年度から夏の地区別懇談会を廃止する事で、PTA役員や学校職員の負担を軽減し、総会に一本化したことである。

これらを経て、平成20年度(欠席者総会無し)57%(以下全て実数)→25年度(欠席者総会開催初年度)78%→平成30年度90.5%と増加傾向にある。今年度は新天皇即位の日を含めた10連休があったため、84.8%に落ち込んだ。特に『安心安全メール』を活用してから徐々に増えているように思える。ちなみに本校の『安心安全メール』への保護者登録数は、715件(実数)二重登録(PCと携帯)もあるが、この影響は大きいと思う。

だが、一番大きな理由は『保護者』の学校に対する関心の高さであると感じている

出席率60%台から80%台への推移

1. 地区懇談会の廃止
PTA理事・役員及び教職員の負担軽減。
 2. 中学校の体育大会と被らせない
5月開催の場合は、中学校の体育大会と重なる。
 3. 早い段階での保護者への連絡
新入生保護者は合格者募集日に文書、在校生保護者へは3月下旬に「安心安全メール」を送信
新学期早々には文書を配付。



熊本丸航海実習と熊本地震の記憶

熊本丸指導教官 山口 景一

今年の2月に第5代熊本丸が竣工し、新しい実習船の歴史が始まりました。最新鋭の航海計器、どんなアクシデントにも負けないハイブリッドエンジンを搭載し、素晴らしい実習が実践できることに我々はもちろん、生徒一同喜んでいます。これからは、実習船としての役割だけでなく発電装置を搭載した災害救助船としての活躍も視野に入れて、広く県民の皆様に知っていただければと思っています。

振り返ると、熊本地震の発災時は第4代熊本丸にて年度初め航海中でした。地元熊本の悲惨な状況を船上で生徒とともに見守るしかなかったことを悔しく思っていました。この時は、本来ならば針路を変更してすぐさま帰港すべきであったのではという悩みもありました。しかし、被災された生徒の保護者から実習は継続してくださいとの声が上がり、その言葉に勇気づけられて航海を続けました。そこから、各地域の方々の温かさを知ることになりました。名古屋港に入港してその地域の方々が飲料水等の物資を持ってきていただきました。その後も本校卒業生や知り合いの船舶職員の方々からも支援物資をいただきました。東京では岩手県の宮古水産高校より、発電機等の支援物資をいただき、神奈川海洋高校以下関東周辺の高校からも実習製品などの支援物資をいただきました。多くの方々から心のこもった支援物資をいただき、生徒共々感動したことを今でも覚えています。その心とともに我々は支援物資を熊本の三角港に運び、そこから被災地域へ運びました。この時も本校関係者はもちろん、ボランティアの方々の協力があり、速やかに運搬することができました。

この経験は、生徒にとっても乗組員にとっても貴重な経験であり、これほど嬉しかったことはありません。このような経験を糧に実習船としての役割を全うし、今後の水産教育に全力で取り組んで行きたいと思います。

地域と学校との連携について（商業科ならではの連携）

本校は、平成29年4月に球磨中央高等学校として開校した学校です。地域未来探究科（普通科）、商業科、情報処理科の3学科を設置する学校で、全校生徒322名の学校です。地域の方々に支えられながら、夢と志をもつて社会や地域に貢献できる生徒の育成に努めています。また、生徒一人ひとりの学習や進路希望に対応した学校設定科目や総合選択制を設け、自らの意思で選択し自己の目的に沿ったきめ細やかな指導と支援を行っています。その結果、毎年大学進学、各種専門学校、公務員、就職までの幅広い進路希望を実現しています。生徒たちは、とても素直で明るく元気な生徒が多く、思いやりのある良い人間関係が形成されています。先生方も教育愛にあふれ、熱心に指導してくれる学校です。豊かな自然環境とおおらかな気風・面倒見のよい教員集団のもと、学習に部活動に一生懸命励み、自分自身を磨き上げることができます。

学校です。

学校行事のひとつである「球磨中央百貨店」は、冬の風物詩とも言われるくらうに地域に定着した生徒販売実習です。地域の事業所様や育友会



を収めています。目的として、日頃の学習や地域理解学習で習得した知識を、主体的・対話的で深い学びにつなげ、地域社会の発展に貢献する態度やアノート・プレゼンテーションなどを養い、課題を探求し解決する力、自らの考え行動し適応していく力、「マニフェスト」の能力、協調性、学ぶ意欲、働く意欲、チャレンジ精神などの積極性・創造性などの育成を目指しています。さらに、協賛事業所や地域社会との連携・交流を通じた実践的教育、外部人材活用した事前・事後の拓い授業等を充実させ、社会への適応能力等の育成を図るとともに、地域産業や地域社会への理解と貢献の意識を深めさせます。今年は、10月19日(土)・20日(日)に開催し、「学べる!百貨店」へお買い物は、知的好奇心を刺激する「コンセプト」を掲げ、百貨店を実施しました。「一日間とも天候に恵まれ、3,283人(昨年度より437人増)のお客様に御来店いただきました。集客目標としていた3,000人を超えたこともあり、大盛況で終わることができました。

A wide-angle photograph showing a large group of people gathered at a bus stop in a park. The area is filled with green trees and bushes. In the foreground, a silver pickup truck with a green tarp on its bed is parked. A small bus stop structure is visible on the left. Many people are standing in groups, some wearing high-visibility vests, suggesting they are part of an organized event like a community cleanup or restoration project.

①「五ヶ瀬川・緑川の日(ハリゼロの日)

—斎清掃2019—

山都町では、有明海に注ぐ緑川、太平洋に注ぐ五ヶ瀬川の二つの大きな河川にちなんで「五ヶ瀬川・緑川の日」として緑川流域各地、町内で斎清掃活動が実施されています。

4月29日(月)本校も部活動単位で生徒・職員108名が参加し、町内を4コースに分かれ清掃活動を行いました。また、本校の保護者も各地域で参加し、町内の美化に貢献しました。

笑顔と元気の発信源 地域を支える矢部高校

①「五ヶ瀬川・緑川の口(ハリゼロの口)」
山都町で、有馬温泉の庄ヶ谷川、太
携しながら様々な活動を行っています。
らじくつかの取組を紹介します。



8月25日(日)食農科学科1年生が山都町棚田復興ボランティアに参加しました。本町は平成28年熊本地震、その後の豪雨災害で棚田に甚大な被害があり、現在も復旧作業が続いています。この日は地域理解と地域貢献を目的に、山都町犬飼地区周辺の井手の清掃活動を

科・総科学科生徒・職員に加え、育友会執行部も参加し町内を練り歩きました。その中で沿道の皆様からたくさんのお励やお褒めの言葉をいただきました。地域の文化や伝統を学ぶことに大きな意義があることを生徒たちも感じました。彼らが大人になり「地域を支え、文化を継承していく人材」と成長してくれることを期待します。

周辺に張り巡らされており、参加した生徒は通潤橋の素晴らしさや当時井手を作られた方々の偉大さを感じました。

「やりたいこと」を、磨く。
技は強し。



学校法人
開新学園

熊本工業専門学校

21世紀に求められる豊かな人間性と
クリエイティブな人材育成を
めざします

職業実践専門課程

全学科

自動車整備
工学科
80名

電気
システム科
40名

機械
システム科
40名

〒861-8038 熊本市東区長嶺東5丁目1番1号
TEL 096 380 8645 FAX 096 380 8646
電子メール info@kumakosen.jp
ホームページ <http://www.kumakosen.jp>

入学相談
ブローカー
ダイヤル

0120-00-8645





熊本県立北稜高等学校

熊本県立北稜高等学校



目指すは、未来のスペシャリスト!
北稜高校の5つの特徴

(1)5つの学科による総合教育
(2)各分野における専門科目を選択
(3)生徒が学ぶ内容を身近な社会や地域にフィットする総合的力などをそれぞれの専門性を生かした授業・評議会等を通じて、生徒が自ら能動的に学ぶことを育成していく

で、15、444名の卒業生を輩出し、幅広い分野で活躍しています。

現在は普通科人文コース、園芸科学科、造園科、ビジネススマネジメント科、家政科学科の5学科、361名の生徒が学んでいます。

校訓「創造」「勤労」「感謝」のもと、総合高校として、「地域に根ざし、地域社会に信頼される学校」として、地域との連携・協働を重視し、学科の特色を生かした教育活動に取り組んでいます。中でも、新玉名駅周辺での田んぼアートプロジェクトはじめ、高瀬裏川菖蒲まつり、大俵まつり等に多くの生徒たちが参加し、地域の中で確実に人間力を形成しています。

育友会では、学校の教育理念や教育目標に寄り添い、地域と連携しながら生徒たちの活躍をしっかりとサポートしています。4月の育

校として創立され、昭和27年熊本県立玉名農業高等学校として独立しました。平成3年に校名を熊本県立北稜高等学校に変更し、これまで、15、444名の卒業生を輩出し、幅広い分野で活躍しています。

現在は普通科人文コース、園芸科学科、造園科、ビジネススマネジメント科、家政科学科の5学科、361名の生徒が学んでいます。



園芸科学科



造園科



ビジネススマネジメント科



家政科学科



普通科人文コース



農芸科学科



造園科学科



玉名駅周辺アートプロジェクト



菖蒲まつり



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



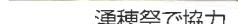
玉名駅周辺アートプロジェクト



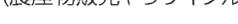
玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



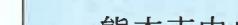
玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



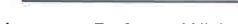
玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト



玉名駅周辺アートプロジェクト

玉名駅周辺アートプロジェクト

(財) 熊本県PTA教育振興財団からのお知らせ

卒業式後の卒業生の活動について

熊本県PTA共済の共済期間は、年度末(3月31日)までとなっています。学校の卒業式の後であっても、学校内での勉強会や試験対策、部活動の支援などに卒業生が参加する場合は、PTA会長承認行事として計画を立て、PTA会長の承認を受けてください。本共済にご加入の生徒やPTA保護者会員の方々は、この期間中の事故であっても共済が適用されます。ただし、進学予定の大学などでの活動については適用となりませんのでご注意ください。

自転車やバイクでの登下校は

交通法規を守るとともに、安全確認も十分に!

高校生の登下校中の事故が減りません。万が一、交通事故に遭った場合は、必ず警察に届け交通事故証明を受けられるようにしておきましょう。登校時に急いでいるときこそ、十分に注意しましょう。

次年度高校入学予定の中学生について

運動部活動などで、次年度入学予定の中学生が本年度中に(3月31日まで)高校での活動に参加する場合は、中学校で加入の本共済の適用とはなりません。高校入学後に本共済に加入なさるとして1日以降であれば入学式前の事故であっても本共済の適用を受けることができます。

安否コースご加入の保護者の被災は…

保護者の方々は、卒業式や入学式などの学校行事に参加の場合も、往復中の交通事故等を含めて本共済の適用を受けることができます。軽傷であっても早めの医療機関の受診と適切な治療により、重症化を防ぎましょう。

**問い合わせ先: 熊本県PTA教育振興財団
事務局 TEL: 096-278-8811**

熊本県公立高等学校PTA連合会

生徒総合保障制度のご案内

(こども総合保険+自転車総合保険)

熊本県公立高等学校PTA連合会生徒総合保障制度は、ケガや自転車による賠償事故など学校生活のみならず、日常の暮らしの中でお子さまが直面する危険を幅広く補償する制度で、熊本県公立高等学校PTA連合会の推進事業です。

個人賠償責任補償 (示談交渉サービス付き)*

生徒やそのご家族があやまって他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたりして、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償します。

*授業および部活動などの学校管理下における活動中やスポーツをしている間は、法律上の損害賠償責任が生じないことが多い、補償の対象とならないことがあります。また自動車使用中(運転、ドアの開け閉め等を含みます)やバイク運転中の事故は補償の対象とはなりません。

お支払金額 60,000円

※示談交渉を行う場合は、被扶養者および被扶養者の同意が必要です。国内のみのサービスとなります。

支払例

自転車走行中に駐車していた車に接触し、車に傷つけてしまった。



簡単支払 特急便

スピード対応 お電話一本で手続き完了

ケガによる入院・通院で10万円以下の請求は、
電話による事故報告のみで
保険金をお支払いします。

●PTA団体割引制度により 保険料は15%割引

ご加入についてごチケットを大切しておられた被扶養の被扶養者である被扶養料(加入者20名未満の団体における被扶養料)に対しての割合を表示します。適用される割引率は前半の加入者数、過去の被扶養率によって設定します。(半分以上は被扶養料が変更となる場合があります)お問い合わせください。

当制度は、PTA団体加入制度のため、15%保険料が割り引かれています。3種類のプランからお選びいただけます。1年間の掛金3,190円~。(プラン・支拂開始日により、掛金は異なります。)

S-200213(2021-01)

自転車事故重点補償

生徒が自転車に乗っている間にケガをした場合、または乗っていないときに走っている自転車と接触しケガをした場合の補償が厚くなります。

支払例

自転車で転倒し足を骨折。10日間入院し、退院後10日間通院した。

お問い合わせ先

保障制度担当代理店(株)コーリン

0120-228-553

受付時間: 平日/午前9時~午後5時 (土・日・祝日・年末年始を除く)
〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2 オークビル9F

割引制度受取保険会社: AIG損害保険㈱、東京海上日動火災保険㈱、損害保険ジャパン日本興亜㈱(2020年4月から損害保険ジャパン株式会社へ変更予定)
ご加入の際には、パンフレットおよび重要事項説明書を必ずお読み頂いた上でお申込みください。

ご加入者様の声

- 初めての自転車通学で、入学後間もない事故でした。3月中に手続きしておいて本当に良かったです。
- 迅速丁寧な対応でした。わかりやすい。
- 学校からの紹介なので安心だと思います。
- 入学後、まだ自転車通学に慣れていない5月の事故。3月中に手続きしておいて助かりました。
- 対応も良く支払い(保険)も早く振込まれていたので、友達にもすすめたいと思った。
- まさかの事故が起こると今回強く感じましたので、保険への加入は必要だと思いました。
- 請求がスムーズだった。メールのやりとりもわかりやすかったです。

今年度は「生徒を中心としたPTA活動とは…」をテーマに、編集作業をしてきました。まず表紙にこだわりました。生徒たちが輝くためにも、私たち大人がしっかりとその舞台を作り、支えることが大事だと伝えたかった。9月に発行しました。また、県内の頑張つて第46号では、大人の意識改革のためにもPTA総会の出席率を調査、その取り組みから学ぶ実践を今号にも記事にしました。また、県内の頑張つている高校生の一つの姿として「わが校自慢の生産品」の特集、そして高校の持ち味を生かした実践を取り上げました。熊本県内は広く、多くのみなさんのが「生徒たちのため」と、活動なさっている姿から、読者のみなさまが元気を分かち合うきっかけとなれば幸甚です。この場を借りて、今年度の発行にあたり、ご協力いただいた全てのみなさまに感謝申し上げます。

編集後記

○ 顧問 玉名高等学校・玉名高等学校附属 中学校校長 西澤 順孝	○ 調査広報委員長 北稲高等学校育友会会长 大野 豊重	○ 調査広報委員長 玉名高等学校・玉名高等学校附属 中学校育友会会长 坂口 明夫
八代清流高等学校育友会会长 德本 喜一郎	千原台高等学校 清爽会会长 浦本 和子	熊本商業高等学校育友会会长 山本 剛宏
熊本農業高等学校 PTA副会長 前瀬 洋子	熊本農業高等学校育友会会长 大野 豊重	熊本商業高等学校育友会会长 山本 剛宏
西澤 順孝	浦本 和子	山本 剛宏